

令和5年度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	児童劇
----	----	----	-----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	無	申請総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしきがいしゃともしび		団体ウェブサイトURL
	株式会社ともしび		https://tomoshi.co.jp
代表者職・氏名	斉藤 隆		
制作団体所在地	〒 171-0033	最寄り駅(バス停)	早稲田
	東京都豊島区高田1-12-17		
電話番号	03-6907-2731		
ふりがな 公演団体名	おべれったげきだんともしび		団体ウェブサイトURL
	オペレッタ劇団ともしび		https://tomoshi.co.jp/operetta
代表者職・氏名	本道 亮		
公演団体所在地	〒 171-0033	最寄り駅(バス停)	早稲田
	東京都豊島区高田1-12-17		
制作団体 設立年月	昭和43年3月		
制作団体組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 斉藤隆 取締役 丸山堅司 取締役 清水正美 他	団体構成員:「ともしび」の音楽文化を創造し、普及しようとするもの。 加入条件:上記要件を認め、活動しようとするものはだれでも。	
事務体制 (専任担当の有無)	他の事業と兼任の事務担当者 を置く	本事業担当者名	高柴秀樹
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	小松原奈々子

<p>制作団体沿革</p>	<p>1968 オペレッタ劇団ともしび発足 1971 株式会社ともしび設立 (この間) オペレッタ「べっかんこ鬼」「お月さんももいろ」首都圏中心に公演 日本児童演劇協会主催僻地巡回公演 茨城・千葉・高知公演など 1989 「金剛山のトラたいじ他」韓国より招聘公演(以後5次にわたり韓国各地で公演) 1992 芸術振興基金助成公演「金剛山のトラたいじ他生野野外公演」 1994「金剛山のトラたいじ他」平成6厚生省中央児童福祉審議会特別推薦文化財 2002 アシテジ(国際児童青少年演劇協会)世界大会・ソウル招聘公演 「金剛山のトラたいじ他」(文化庁フェスティバル助成) 2009 日本・メコン交流記念オペレッタ「シンプルプレイ 3びきのこぶた」ラオス、カンボジア、ベトナム公演 2018「トラの恩がえし」厚生労働省社会保障審議会特別推薦児童福祉文化財受賞 2019「トラの恩がえし」一般財団法人 児童健全育成推進財団2019年度児童福祉文化財受賞 現在に至る</p>		
<p>学校等における公演実績</p>	<p>1967年 学校公演開始オペレッタ「カッパ沼の宝物」年間30公演程度公演 幼稚園・保育園公演「ごんべえかかし」「狼五郎」 1980年代 オペレッタ「べっかんこ鬼」、「お月さんももいろ」等年間100日程度公演 1980年代 オペレッタ「ねこの家」オペレッタ「金剛山のトラたいじ」など年間150日程度公演 1990年代 オペレッタ「いのちのバトン」「金剛山のトラたいじ」など年間120日程度公演 2000年代 ともしび「バラエティ劇場」「金剛山のトラたいじ」など年間80日程度公演 2010年代 オペレッタ「トラの恩がえし」ともしび「バラエティ劇場」など年間80日程度公演 主に首都圏を中心に公演 この間、オペレッタ「いのちのバトン」「金剛山のトラたいじ」は文化庁「本物の舞台芸術体験事業」 「トラの恩がえし」は令和元年、令和2年、令和3年、令和4年に「文化芸術による子供育成総合事業」巡回公演事業採択、公益社団法人日本児童演劇協会地方巡回公演は、ほぼ毎年採択され、首都圏以外の学校公演を多数行う。</p>		
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>公演実施校:北海道白樺養護学校、北海道余市養護学校、北海道紋別養護学校、岩手県立松園養護学校、千葉県我孫子養護学校、埼玉県松山養護学校、埼玉県立蓮田特別支援学校、都立町田養護学校、埼玉県立和光養護学校、岡山県健康の森学園養護学校、長野県立稲荷山養護学校、高島根県松江清心養護学校、知県立盲学校、埼玉県立毛呂山特別支援学校、都立城南養護学校、都立墨東養護学校、都立光明養護学校、東京都立鹿本学園、都立小平養護学校、都立羽村養護学校、都立高島養護学校、町田養護学校、山梨県あけぼの養護学校、神奈川県立麻生養護学校、埼玉県立日高養護学校、埼玉県立川口養護学校、岐阜県立本巣特別支援学校等、2022年現在50数校。</p> <p>公演演目:「お月さんももいろ」「金剛山のトラたいじ」「おっととおっと音あそび」「いのちのバトン」「シンプルプレイで2つの寓話劇」「おもしろどんどん」「ともしびバラエティ劇場」「トラの恩がえし」等</p>		
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>	
<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>https://www.youtube.com/watch?v=i9x6a1a_LI4</p> <p>ID: なし PW: なし</p>	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 オペレッタ劇団ともしび】

対象	小学生(低学年)	○	
	小学生(中学年)	○	
	小学生(高学年)	○	
	中学生	○	
企画名	オペレッタ「トラの恩がえし」		
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>オペレッタ「トラの恩がえし」</p> <p>原作 韓国・朝鮮民話 音楽 リ・ジェホ+韓国・朝鮮の伝統音楽から 脚本 中西明+韓国・朝鮮と日本チーム 演出 大野幸則+韓国・朝鮮と日本チーム 美術 内山勉 新井真紀</p> <p style="text-align: right;">80 分</p>		
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況
演目概要	<p>●あらすじ 大昔は仲良く暮らしていたという人間とトラ、いつしかお互いを敵として、憎みあって暮らすようになっていました。山奥に母親と2人で暮らす木こりが、ある日けがをして苦しんでいるトラを助けます。思いがけず命を救われたトラは、木こり親子に恩がえしをはじめ、最後には自分の命をかけて一計を案じます。敵同士という垣根を越えて生まれる普遍的な友情が胸を打つ朝鮮民話がベースとなっています。</p> <p>●演目の特徴 ◆「異文化への理解と共感」を作品の骨格として重層的に表現していきます。「トラと人間との友情」というストーリー、耳慣れない隣国のリズムやメロディ、初めて見る楽器類とその演奏などが、今まで知らなかった世界へと児童・生徒を誘います。韓国・朝鮮の伝統的な楽器、歌、美術、独特のリズムを取り入れ、隣国との文化的な相違や共通点を知る機会ともなります。大道芸の妙技も楽しんでいただけます。 ◆録音やマイクなどの拡声器材を一切使わず、すべて生で歌い、演奏するオペレッタです。子どもたちが思わず声を上げて応援したり爆笑したりと、舞台と客席との交流が豊かで、演者と観客との心の交流が一層の臨場感を生み出す構成になっています。 ◆演劇には悪条件と言われてきた体育館の構造を逆に活かして、「体育館演劇」と呼ばれる独特の空間を作り出します。具体的には、観客数によりますが体育館の舞台も利用してスタジアム風の客席を設営し、後方でも見やすくしています。また、音響器材を使わないことで余分な反響音をなくし、歌やセリフを聞き取りやすくする、などの工夫をしています。 ◆役者たち自身が構成を練り、場面場面を話し合い、試し合って創る「デバイジング」方式をとっています。役者たちがお互いを認め合い、「生かしあう」ことが、作品のテーマである「生かしあう力」を舞台で表現する支えになっています。</p>		
演目選択理由	<p>●人間同士の「心の垣根」が静いや対立、戦争など大きな不幸を生み出している今日、その「垣根」を取り払う思いやりや優しさ、相手への理解の大切さを描きたく、この作品を選びました。また、人の役に立つこと、人に喜ばれることが自分の喜びともなる、そんな生き方、人と人との「生き合う」姿を伝えたいと願っています。</p> <p>●あわせて、隣国の文化に触れ、異文化への理解と共感を広げるきっかけとなることを期待しています。</p>		
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>小学校では、劇のオープニングをいっしょに演じます。まず祭りの始まりをつげるかけ声を全員で行います。続いて本作のテーマ曲を簡単な振り付け付きでいっしょに歌ってもらいます。韓国の伝統的な民謡のひとつをモチーフにした曲で、民族楽器「チャング」で伴奏します。続いて二つの組に分かれて「わらべうた」を歌います。舞台上に上がる人数は20名程度、最大30名程度までですが、それ以上の人数を希望される場合、客席でいっしょに歌うスタイルもあります。必要に応じて事前に楽譜、CD等を用意します。</p> <p>中学校では役者の歌唱に伝統的な手拍子で参加してもらいます。チャング奏者に心を寄せ、即興的なリズムを重ね合わせていく体験となります。また最後の大道芸の一部を6名程度の生徒に体験してもらうことが可能です。</p>		

出演者	中西明 李在浩 藤崎健太 本道亮 金嬉仙 千足咲菜 河野梨花					
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含 む	出演者: 7 名	運搬	積載量: 2 t			
	スタッフ: 1 名		車 長: 6.5 m			
	合 計: 8 名		台 数: 1 台			
本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	7時30分	2時間30分	90分	10分	1時間50分	14時
	※本公演時間の目安は、午前、概ね2時限分程度です。午前仕込み、午後公演も可能です。					
本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決 定後に確認します。(大幅な変更は認 められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
					10日	
	11月	12月	1月	計	44日	
	10日	10日	14日			
※平日の実施可能日数目安をご記載ください。						
児童・生徒の 参加可能人数	本公演		共演人数目安	小学校20～30名、中学校制限なし		
			鑑賞人数目安	1公演300名程度(コロナ禍では200名以下)		

公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出や
がわかる写真)

※採択決定後、採
択団体へ図面等詳
細の提出をお願い
します。



会場全体上演風景

舞台間口10m 奥行き8m以上
舞台奥の背景は、高さ7Mになります。

客席は、劇団のベンチと、パイプ椅子で、高低
段差をつくり、見やすくします。

オペレッタ「トラの恩がえし」上演風景

出演者7名でおおくりします。

フィナーレ「韓国朝鮮の大道芸」上演風景

チャング演奏

ボナノリ(皿回し)

ヨルトバリ(ひもの付いた帽子の長いひもを回
す)

等を紹介し、盛り上げます。

【公演団体名 オペレッタ劇団ともしび】

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	20～30名
<p>ワークショップ 実施形態及び内容</p>	<p>小学校ではおよそ80分を目安に、舞台上で動くことを前提に1クラス以内の人数で行います。中学校では1時限を目安に演奏会形式で行い、人数の制限は設けません。</p> <p>小学校では劇のオープニングで歌われる2曲を練習し、本公演に参加してもらいます。 まず、開幕をつけるかけ声を韓国語で練習します。続けて、伝統民謡をモチーフにした歌を、簡単な振り付けをつけて歌います。次に、「村の子どもたち」、「トラの子どもたち」の2グループに分かれ、いっしょに遊ぶ歌を歌います。 これは、遙か昔にはトラと人間が仲良く暮らしている時代があった、という情景の表現で、ストーリーの最後の方で、その意味が改めて理解できるような構成になっています。 歌の練習の合間に、チャング(朝鮮半島の伝統打楽器)の演奏を簡単な解説を添えて行い、時間的に余裕があれば実際に楽器に触ってもらう時間を作ります。 また、伝統服や履き物などを例にとりて、日本と朝鮮半島の文化の共通点と違いなどを説明します。</p>  <p>中学校では演奏会形式で打楽器演奏、民謡歌唱などを聴いてもらい、解説とあわせて朝鮮半島の独特のリズムを感じ取ってもらいます。続いて、そのリズムの基本パターンを説明し、手拍子でたたいてもらい、本公演にその手拍子で参加してもらいます。 また、小学校同様伝統服や履き物などの日本との共通点と違いなどについて知ってもらいます。</p>		
<p>ワークショップの ねらい</p>	<p>歌唱やリズムの特性を知ってもらい、本公演で演奏される歌や演奏に親しみを持ってもらうことが第一の目的です。 韓国・朝鮮とは古代から多くの交流があり、文化的にも様々な共通点を持ちながら、また、まったく違う面もあります。 そうした共通点と相違を、とくに音楽文化の面で感じてほしいと思います。 また、劇(Play)が「遊び」の延長であることを楽しく感じ取ってもらえるワークショップにしたいと思います。</p>		
<p>その他ワークショップに 関する特記事項等</p>	<p>コロナ禍で集団での歌唱ができない場合、リズムでの参加が可能です。</p>		

オペレッタ 韓国・朝鮮の民話より

とらの国がえし



子どもたちの一人ひとりの「生きる力」から
人と人の「生きあう力」へ

民族楽器の生演奏
韓国・朝鮮の大道芸も楽しい!!
思いやりとやさしさが、
トラと木こりの心をつなぐ!!
笑いあり涙ありの物語。

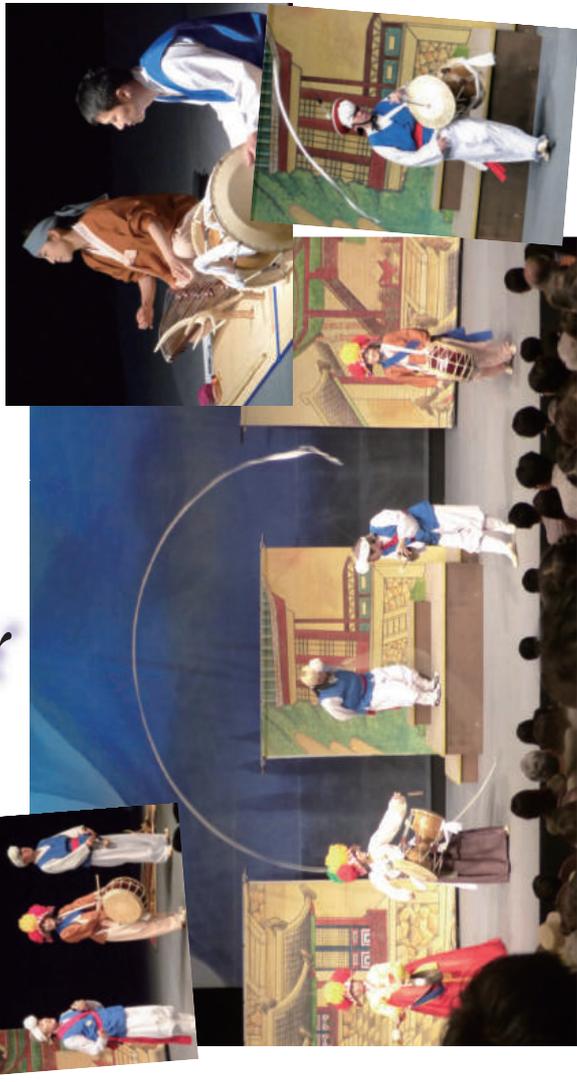
原作：韓国・朝鮮の民話から
音楽：韓国・朝鮮の伝統音楽、李在浩
脚本・演出：韓国・朝鮮と日本チーム
美術：内山勉、新井真紀
出演者による集団創作(ハイキング)

オペレッタ劇団ともしび

日本児童・青少年演劇団協同組合 加盟
国際児童青少年舞台芸術協会(アジア)日本センター 加盟

民族楽器の
生演奏の楽しさが
うたごえが
会場いっぱい
あふれます。

チャング、ブク、ケンガリなどの演奏にあわせての大サンマ。
コミカルで楽しくダイナミックなボケ回し(皿まわし)。
思わず、歓声と拍手が...



制作にあたって

オペレッタ劇団ともしびが「金剛山のトラたいし他」に続きお送りする、韓国・朝鮮の昔話第2弾「トラの恩がえし」は、広く語りつが
れているお話を。トラと人間が互いに殺し合っている時代に、トラと人間の「友情」が生まれました。

たがいに相手を知ろうとしない、無相する。さらに憎み合うという話は、昔話
どころか、私たちの身の回りでも日々起こっていることではないでしょうか。
いな蔓延しつつあります。

心寒くなるような事件が多発する昨今、人々の平和と安寧を願わない日は
ありません。
優しさ、相手に対する思いやりは憎しみを超えて互いの人格を尊ぶ心を育て
ます。芸術作品は子どもたちの心を育てます。

昨日までの体育館が今日は劇場に大変身!

劇団が舞台と客席を設営します。体育館の広い
フロアで身近にダイナミックに演じます。



●お申し込み、お問い合わせは 月～金10時～18時 土曜10時～17時

オペレッタ劇団ともしび

〒171-0033 東京都豊島区高田1-1-2-17

TEL 03-6907-2731 FAX 03-6907-3812

<https://tomoshibi.co.jp>

Email info@tomoshibi.co.jp



あれ？お前、こんなにはびくいケガが… 動くんじゃないよ！

何かのどに刺さっている
おいらがとってあげよう。

今日も山に木を切り—to。



なんだか、
気分だけ、
あとも楽しい
あんなに食べて！！

「おへい トラよ！
ずんつと 友だちだからな〜」

「おれも友だちだぞ！！」



どうだ。
この見事な毛皮！
こいつは
高く売れるぞ！



「トラの恩がえし」あらすじ

昔むかし、朝鮮半島にはトラがたくさくさんおりました。
人間はトラの皮を宝物として珍重し、一方トラは、人間を喰うので、お互いに怖れあい、憎み合っていました。
山奥で母親と二人で暮らす、若い木こりが、ある日、痛みで苦しんでいるトラに出くわし、助けてやります。
思いがけず助けられたトラは、怪我がなおると木こりへの恩がえしを始めるのでした。
さて最後の恩がえしは…

上演時間80分(休憩なし) 構成7名 暗幕不要